

担当講座	救急・災害医学講座	問合せ先	救急・災害医学講座
分野責任者	眞瀬 智彦 教授	連絡先	内線5565
担当教員	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 金子 拓 助教 近藤 久禎 非常勤講師		
人材育成の 基本理念	災害医学全般を理解し、実際の災害において災害現場、被災病院、災害対策本部等で従事できる人材を育成する。		
主な研究内容	東日本大震災など以前の災害の医療活動を総括し、今後の大規模災害に対応できる仕組みを構築する。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	(1) 災害医学全般について理解することで、実災害において活動できる医療人に到達する。 (2) 危機管理を理解することで、実災害において活動できる医療人に到達する。	1,2,3,4,5,6	
到達目標	到達目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医療行為のための基本的な知識・技能を活用できる	医学概論	
	(2)計画に従って適切な研究を実施できる。	特別研究I・II	
	(3)研究結果を適切にまとめ、発表できる	特別研究I・II	
	(4)高い専門知識や熟練した技能・技術で、多職種連携業務に貢献できる	多職種連携チーム医療	
	(5)次世代の育成に貢献できる	特別研究I・II	
	(6)過去の災害から得た教訓について学び、今後の課題について説明できる。	災害医学概論、災害医学基礎修練1・3、災害医学1・3	
	(7)災害時に情報を収集し、状況を判断して、医療活動方針を立てることができる。	災害医学概論、災害医学基礎修練1・2・4、災害医学2・4	
	(8)被災地での医療活動ができる。	災害医学基礎修練3・4、災害医学1・2・3・4	
	(9)他機関との連携ができる。	災害医学概論、災害医学基礎修練2・3・4、災害医学2・3・4	
(10)避難所での活動について説明できる。	災害医学基礎修練1・2・4、災害医学2・3・4		
資格取得等			
履修に関する 情報	社会人大学院生など、勤務等で授業に参加できない場合は、日程調整に応じる。(問い合わせ先:災害医学分野・内線5565)		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特論	1年	講義・演習 災害医学概論	通年	8コマ	1	20単位	
	1年	講義・演習 災害医学基礎修練1(急性期～慢性期)	通年	15コマ	2		
	1年	講義・演習 災害医学基礎修練2(現場指揮・本部運営・CSM)	通年	15コマ	2		
	2年	講義・演習 災害医学基礎修練3(特殊災害・危機管理)	通年	30コマ	4		
	2年	講義・演習 災害医学基礎修練4(ロジスティクス)	通年	30コマ	4		
	1・2年	講義・演習 災害医学1(医療救護班・DMAT)	通年	15コマ	2		
	1・2年	講義・演習 災害医学2(情報)	通年	15コマ	2		
	1・2年	講義・演習 災害医学3(災害保健医療)	通年	15コマ	2		
	1・2年	講義・演習 災害医学4(コーディネーター)	通年	8コマ	1		
特別 研究	1年	特別研究I(中間審査)	通年	15コマ	2	4単位	
	2年	特別研究II(論文作成)	通年	15コマ	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

災害医学

コード	MM11201010					MM11201020					MM11201030					MM11201040				
科目	災害医学概論					災害医学基礎修練1 (急性期～慢性期)					災害医学基礎修練2 (現場指揮・本部運営・CSM)					災害医学基礎修練3 (特殊災害・危機管理)				
科目責任者	眞瀬智彦					眞瀬智彦					眞瀬智彦					眞瀬智彦				
担当者	眞瀬智彦					眞瀬智彦、藤原弘之、富永綾、金子拓					眞瀬智彦、藤原弘之、富永綾、金子拓					眞瀬智彦、藤原弘之、富永綾、金子拓				
会場	災害時地域医療支援教育センター研究室					災害時地域医療支援教育センター研究室					災害時地域医療支援教育センター研究室					災害時地域医療支援教育センター研究室				
区分等	区分	講義・演習	単位	1		区分	講義・演習	単位	2		区分	講義・演習	単位	2		区分	講義・演習	単位	4	
	回数	通年8コマ	配当年次	1		回数	通年15コマ	配当年次	1		回数	通年15コマ	配当年次	1		回数	通年30コマ	配当年次	2	
主な授業内容	災害医学の基本概念の修得					災害時の急性期における医療従事者としての対応を修得する 災害時の慢性期における対応、医療体制を修得する					災害現場における安全管理と指揮について理解する 災害対策本部の役割を理解し、本部の立上げから運営までを修得する					災害現場、特殊災害での対応を修得する 防災・危機管理のエキスパートとして、災害オペレーションを効果的に推進するために必要な知識を修得する				
教育成果	災害医療の原則を説明できるようになる。 我が国における災害医療体制・対応を学び、有事の際の対応に活かすことができるようになる。 CSCATTTについて説明できるようになる。					トリアージを理解し適切に行うことができるようになる。 被災した医療機関において、適切な対応を行うことができるようになる。 避難所の支援活動、運営を行うことができるようになる。					災害対策本部の立ち上げや役割を理解し、災害発生後の初動から運営方法、情報収集の方法からまとめ方までを修得する。 収集した情報から適切な活動方針を立てることができる。 他機関との連携が取れるようになる。					災害現場でのゾーニングや関係機関の役割を学び、現場での医療活動のあり方を検討することができる。 防災・危機管理について理解し、有事の際に対応できるようになる。				
コピレックス番号/達成度	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5
	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。																			
	全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

コード	MM11201050					MM11201060					MM11201070					MM11201080				
科目	災害医学基礎修練4 (ロジスティクス)					災害医学1 (医療救護班・DMAT)					災害医学2 (情報)					災害医学3 (災害保健医療)				
科目責任者	眞瀬智彦					眞瀬智彦					眞瀬智彦					眞瀬智彦				
担当者	眞瀬智彦、藤原弘之、富永綾					眞瀬智彦、藤原弘之、富永綾、金子拓					眞瀬智彦、藤原弘之、富永綾					眞瀬智彦、藤原弘之				
会場	災害時地域医療支援教育センター研究室					災害時地域医療支援教育センター研究室					災害時地域医療支援教育センター研究室					災害時地域医療支援教育センター研究室				
区分等	区分	講義・演習	単位	4		区分	講義・演習	単位	2		区分	講義・演習	単位	2		区分	講義・演習	単位	2	
	回数	通年30コマ	配当年次	2		回数	通年15コマ	配当年次	1～2		回数	通年15コマ	配当年次	1～2		回数	通年15コマ	配当年次	1～2	
主な授業内容	災害現場におけるロジスティクスの役割を理解し、ロジスティクスの基礎を修得する。					被災地での災害派遣医療チーム (DMAT等) の役割を理解し、医療救護班としての医療活動内容を修得する。					災害時における情報の重要性を学び、災害時の通信手段の確保、情報収集、情報処理、情報分析の方法を修得する					災害時の保健医療分野における対応の基礎知識を修得する。				
教育成果	支援に入る医療従事者として、被災地までの移動から衣食住の確保、本部の立ち上げや情報の集約など、多岐にわたるロジスティクスの役割を理解し、有事の際に対応できるようになる。					局地災害において傷病者に対する救命処置等の活動かつ的確に行える知識・技能を修得し、実災害で活動できるようになる。					災害時における情報の重要性を理解し、通信手段を習得し、災害時においても情報を収集・処理・分析できるようになる。関係各機関との連携を学び、被災地における医療活動に活かすことができるようになる。					過去の災害のモデルケースから保健所の役割や関係機関との連携を学び、災害時の保健医療活動に活かすことができるようになる。				
コピレックス番号/達成度	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5	コピレックス1	コピレックス2	コピレックス3	コピレックス4	コピレックス5
	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。																			
	全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

●各科目の授業計画

コード	MM11201090					MM11209010					MM11200920									
科目	災害医学4 (コーディネーター)					特別研究 I					特別研究 II									
科目責任者	眞瀬智彦					各(正)指導教員					各(正)指導教員									
担当者	眞瀬智彦、富永綾、近藤久禎					各指導教員					各指導教員									
会場	災害時地域医療支援教育センター研究室					各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定									
区分等	区分	講義・演習	単位	1		区分	演習	単位	2		区分	演習	単位	2						
	回数	通年8コマ	配当年次	1~2		回数	通年15コマ	配当年次	1		回数	通年15コマ	配当年次	2						
主な授業内容	災害時における行政の仕組みや災害医療コーディネーターの役割を理解する。					・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・中間審査の準備					・生命科学や研究手法の専門的、発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備									
アウトカム	災害医療コーディネーターの役割を理解し、コーディネーターと協力して災害対策本部や医療救護班での調整業務等を行うことができる。					生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査> 1年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。					生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成> 学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文が作成できる。									
コピー番号/達成度	コピーテスト1	コピーテスト2	コピーテスト3	コピーテスト4	コピーテスト5	コピーテスト1	コピーテスト2	コピーテスト3	コピーテスト4	コピーテスト5	コピーテスト1	コピーテスト2	コピーテスト3	コピーテスト4	コピーテスト5					
	A	A	A	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	A	A					
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「中間審査の手引き」を参照。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。									
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。					「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。														
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書																				

●時間割

災害医学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						基礎科目
2 限	10:30~12:00			災害医学2	災害医学3	災害医学基礎修練1・2	
3 限	13:00~14:30		災害医学1		特別研究 I / II		災害医学概論
4 限	14:40~16:10			災害医学基礎修練3		災害医学基礎修練4	災害医学4
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						基礎科目
2 限	10:30~12:00			災害医学2	災害医学3	災害医学基礎修練1・2	
3 限	13:00~14:30		災害医学1		特別研究 I / II		災害医学概論
4 限	14:40~16:10			災害医学基礎修練3		災害医学基礎修練4	災害医学4
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						